

事務事業名 保育士家賃補助事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1925

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030205-27-00
基本事業：	04	幼保サービスの充実	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	保育児童課
			担当係	保育児童担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和03年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内の賃貸住宅に居住する保育士に家賃の一部の助成を行う保育所等（私立保育園、認定こども園）に対する補助			本人が契約者であり、市内の賃貸住宅に居住し、施設から住宅手当を受けている正規職員として勤務する保育士に対し、月額上限10,000円を施設を通じて補助する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
保育士の安定的な確保および離職防止を図ることで、保育士不足によって受入人数が減る状況を防ぎ、待機児童の減少につなげる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	05年度要求	06年度計画	07年度計画	目標
私立保育園の保育士数（延べ数）		人		3,609	3,500	3,750			
5. コスト									
事業費		計	千円	5,202	8,400	9,600			
		国	千円	0	0	0			
		県	千円	2,500	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
一般		千円	2,702	8,400	9,600				
正職員人工数		人工		0.2	0.1				
正職員人件費		千円		1,584	773				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		6,786	9,173	9,600			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	令和3年度は50人の保育士に対し、補助を行いました。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
令和3年度に市保育士家賃助成事業補助金交付要綱を制定。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									